

斐川宍道水道企業団料金等審議会(第1回) 席次表

日時: 令和5年6月26日(月)9時～

場所: 斐川宍道水道企業団 3階会議室

会長



いしとみ おさむ
石富 修 委員

ぎま ひろよし
儀満 宏佳 委員

いづか ゆみ
飯塚 由美 委員

たかはし よしたか
高橋 義孝 委員

ありた まさあき
有田 政明 委員

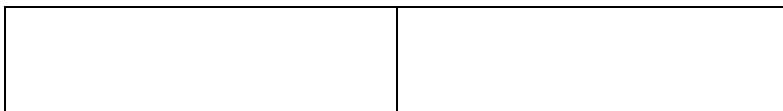
ばんだい しづこ
万代 志津子 委員

あごう みつひろ
吾郷 光洋 委員

やまだ ゆい
山田 結 委員

わたなべ やすし
渡部 靖司 委員

出入口



工務課長

事務局長

企業長

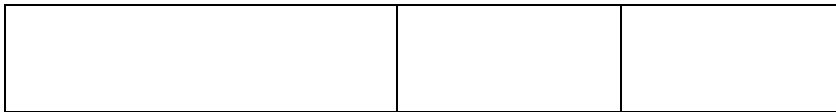
事務局次長

おおうえ しゆんじ
大上 俊司

はら たくや
原 拓也

飯塚 俊之

とうま しんご
藤間 新悟



管理課収納係長

調整官

管理課会計係主任

管理課会計係長

やましろ なおゆき
山代 尚幸

やた ひろゆき
矢田 浩幸

たまき ともやす
玉木 智康

ごうばら ひとし
河原 仁志

斐川宍道水道企業団料金等審議会委員名簿

(敬称略 五十音順)

氏名	所属・役職等
あごう みつひろ 吾郷 光洋	日本税理士連合会中国税理士会出雲支部 (吾郷絃一税理士事務所 (出雲市塩冶有原町))
ありた まさあき 有田 政明	行政相談委員 (宍道町佐々布)
いいつか ゆみ 飯塚 由美	斐川地区民生委員児童委員協議会 副会長 (斐川町三分市)
いしとみ おさむ 石富 修	宍道地区自治会連合会 会長 (宍道町西来待)
ぎま ひろよし 儀満 宏佳	斐川町商工会青年部 部長 (株三昌 専務 (デビュー華満))
たかはし よしたか 高橋 義孝	斐川地域自治協会連合会 会長 (斐川町上庄原)
ばんだい しづこ 万代 志津子	島根県農業協同組合斐川女性部 部長 (斐川町併川)
やまだ ゆい 山田 結	まつえ南商工会 理事 (山田ゆい建築設計事務所 (宍道町佐々布))
わたなべ やすし 渡部 靖司	灘分地区自治協会 副会長 (島村町)

島根県内 上水道料金表

参考 3

令和4年4月1日現在

家庭用1か月あたり料金 メーター13mm、使用水量20m³

(税込)

No.	団体名	基本料金	従量料金	メーター 使用料	合計
1	大田市	1,705	3,300		5,005
2	江津市	1,804	3,003		4,807
3	隠岐の島町	1,189	3,432	145	4,766
4	海士町	1,313	3,300		4,613
5	知夫村	600	4,000		4,600
6	美郷町	1,770	2,640	110	4,520
7	西ノ島町	1,676	2,640		4,316
8	邑南町	1,223	3,052		4,275
9	川本町	1,540	2,640	77	4,257
10	雲南市	1,496	2,484		3,980
11	飯南町	1,870	1,980	88	3,938
12	松江市	880	2,717		3,597
13	奥出雲町	1,349	2,124	73	3,546
14	安来市	1,375	2,140		3,515
15	浜田市	924	2,585		3,509
16	益田市	1,320	1,980	55	3,355
17	出雲市	1,276	2,054		3,330
18	津和野町	880	2,420		3,300
19	吉賀町	880	2,167		3,047
20	企業団	1,034	1,663		2,697

経営比較分析表（令和3年度決算）

島根県 斐川水道水道企業団

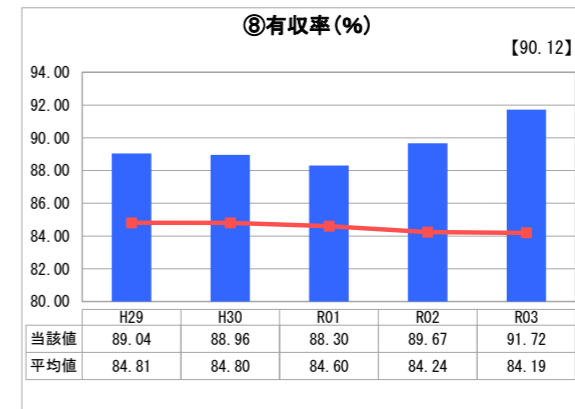
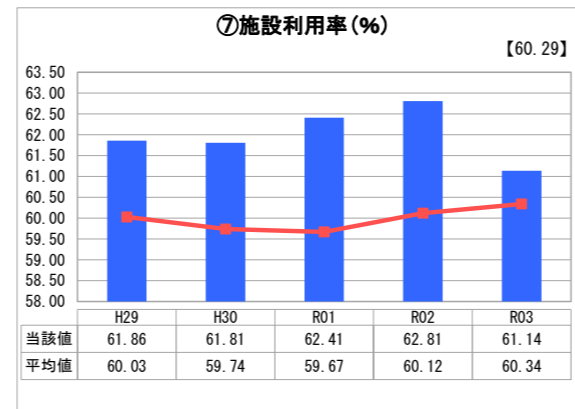
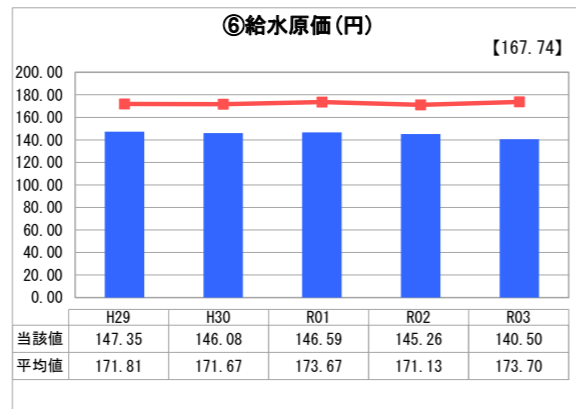
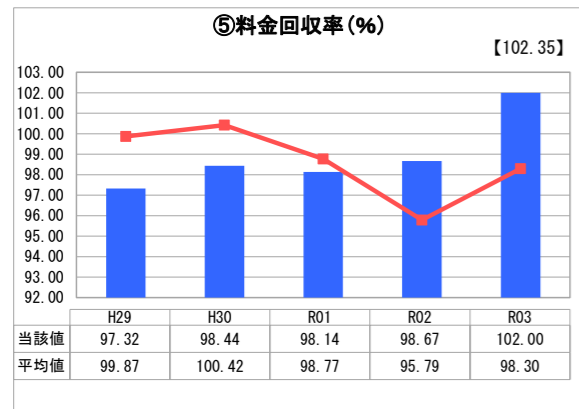
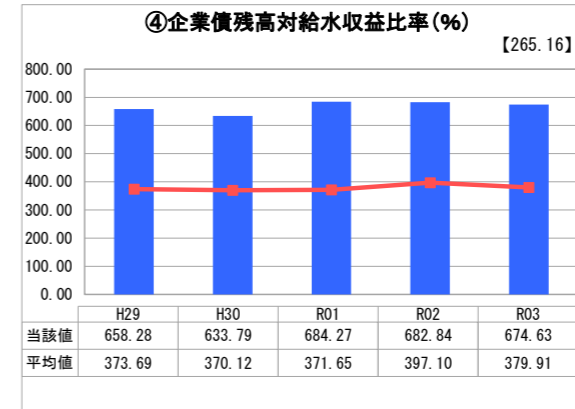
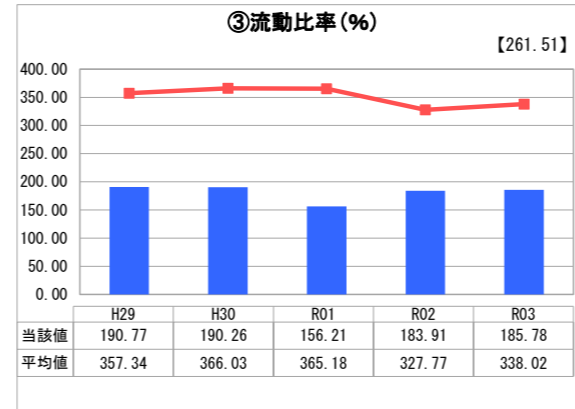
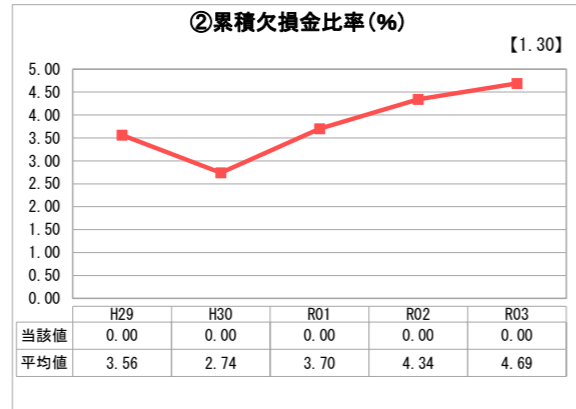
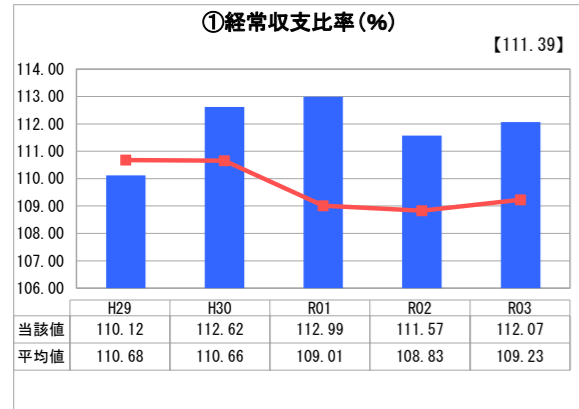
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	51.23	99.72	2,697	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
38,712	86.52	447.43

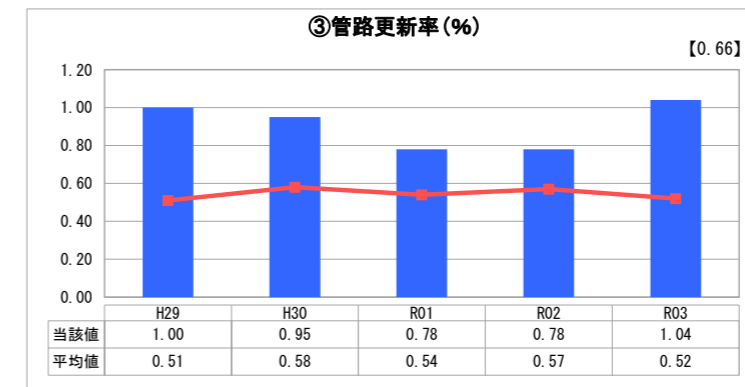
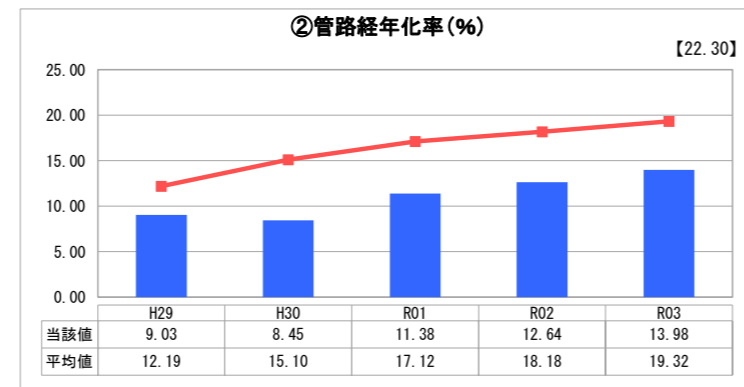
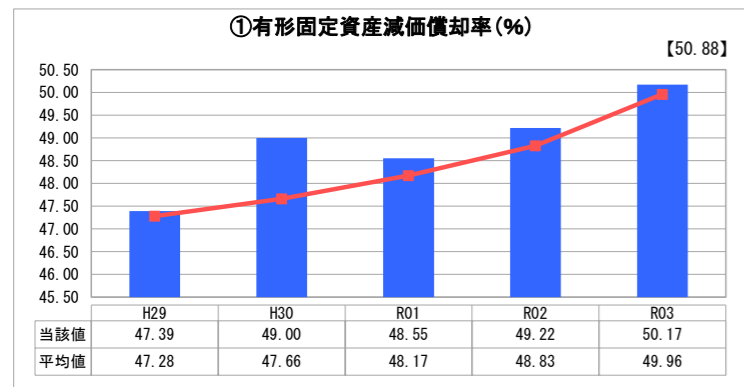
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
営業収益及び営業外収益が減少したが、営業費用及び営業外費用がそれよりも減少したため、指標が改善した。

② 流動比率
未収金、未払金の減少により数値が改善した。

③ 企業債残高対給水収益比率
企業債残高の減少により、数値は若干改善したが、類似団体及び全国平均値を大きく上回っている。令和4年度から企業債借入額を抑制して改善を目指す。

④ 料金回収率
給水原価が大幅に低くなったことにより、数値が上昇した。

⑤ 給水原価
近年は類似団体と比較して非常に良い数値を保っている。さらに令和3年度は水道料金システムのリース料の支払が終了したため、給水原価は大幅に減少した。

⑥ 施設利用率
漏水量の減により1日平均配水量が減少し、数値は下がった。

⑦ 有収率
漏水調査・修繕によって、令和3年度も有収率が上昇した。今後も更なる改善を図る。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
償却が進み数値が上昇している。設備については、予防保全的に修繕を行い、長寿命化を図っている。

② 管路経年化率
経年化が進んでいる。令和2年度に策定した管路更新計画に基づき計画的な更新を実施していく。

③ 管路更新率
近年、類似団体及び全国平均値を上回る管路更新率となっている。令和2年度に策定した管路更新計画に基づいて引き続き計画的な更新を実施していく。

全体総括

令和3年度も概ね健全な経営状態であり、効率性も高めることができた。将来的には料金収入が減少することが見込まれ、管路を中心とした施設の維持管理費の増、更新費用の財源捻出により経営の健全性を保つことが困難になると思われる。経営の効率性を高めるとともに、策定した水道ビジョンや管路更新計画に基づき、客観的に見ても健全な経営状態を維持していく。